

十勝岳

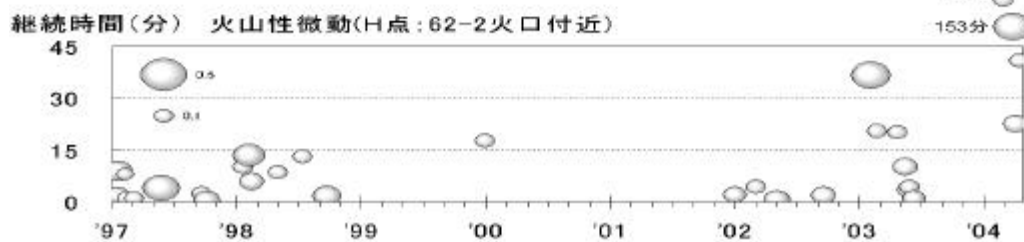
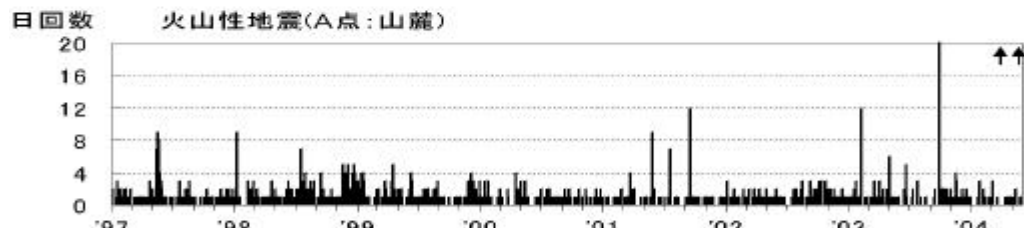
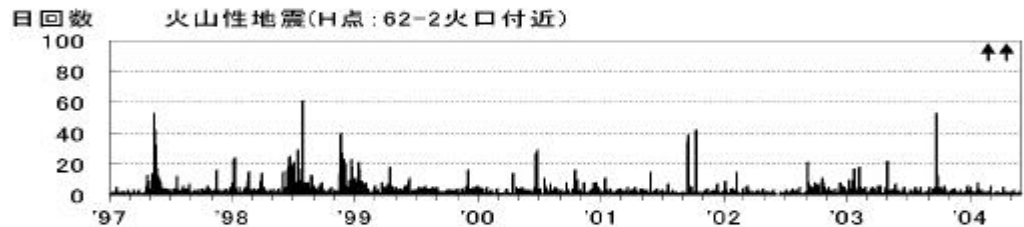
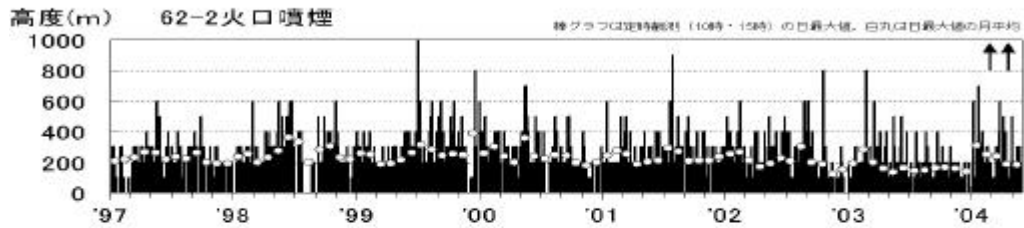
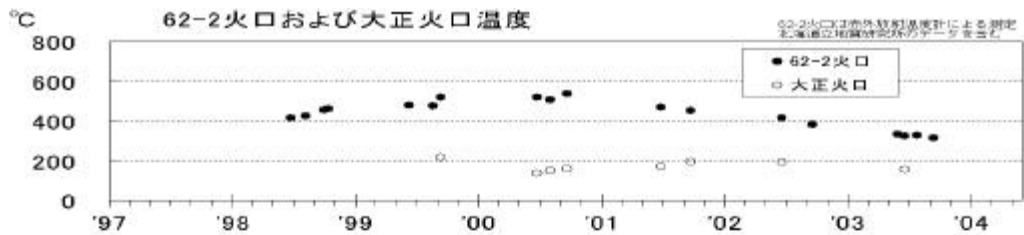
1 概況

火山活動はやや活発な状態が続いています。

62-2 火口の噴煙活動は依然活発な状態で経過しています。4月19日以降小規模な火山性微動・有色噴煙は観測されていませんが、同様な現象は今後も繰り返し発生する可能性があります。

2 噴煙の状況

62-2 火口の噴煙は白色ですが、量は多く、噴出の勢も強い状況が続いています。噴煙の高度は火口縁上おおむね 200～300mで経過しました。火山灰混じりの有色噴煙は4月19日以降観測されていません。



最近の火山活動経過図(1997年1月1日～2004年5月31日) 印は噴火

3 地震および微動の発生状況

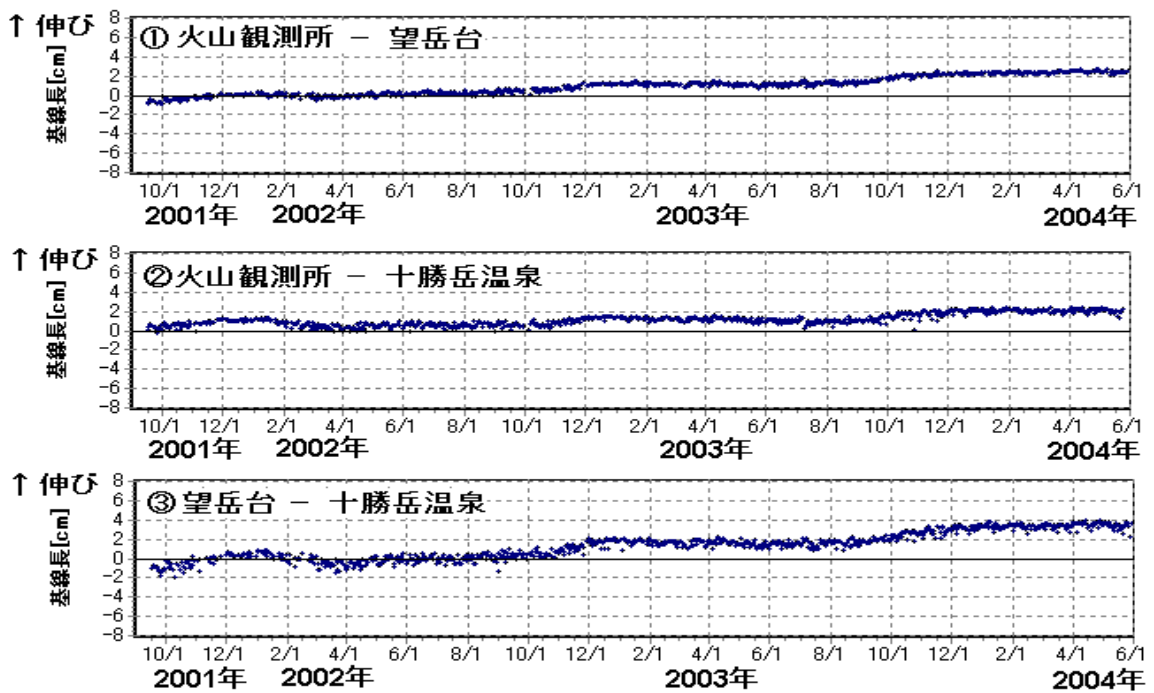
火山性地震の回数は1日あたり0~3回で少ない状態が続いています。火山性微動は4月19日以降観測されていません。

地震・微動の月回数

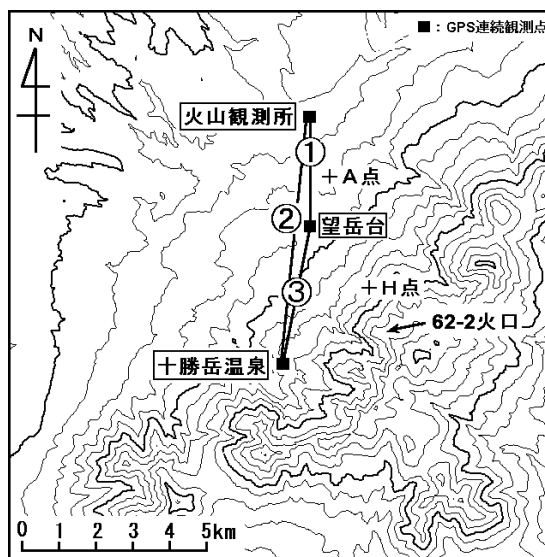
2003~2004年	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月
地震回数H点	24	35	26	106	62	36	36	41	17	30	23	26
地震回数A点	9	9	5	40	16	9	12	7	6	5	5	7
微動回数H点	2	0	0	0	0	0	0	0	1	0	3	0

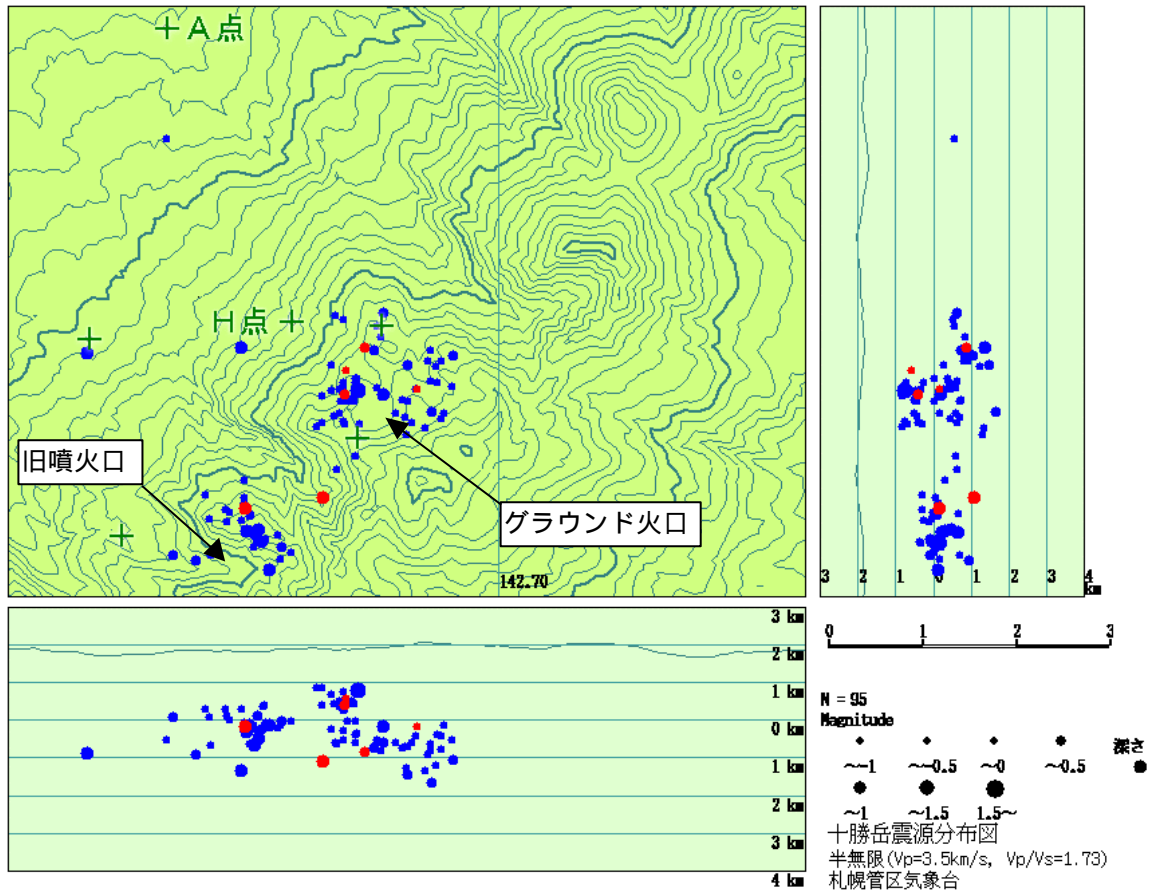
4 地殻変動の状況

西麓でのGPS連続観測では、火山活動に関連すると考えられる変動は認められません。



基線長変化(2001年9月13日~2004年5月31日)





十勝岳の震源分布図(丸印:震源、+印:地震観測点)

赤丸は今期間(2004年5月1日~5月31日)に求まった震源を示しています。

青丸は前期間までの9か月間(2003年8月1日~2004年4月30日)に求まった震源を示しています。

過去の震源分布は大きく分けてグラウンド火口周辺と三段山~旧噴火口周辺の浅部(海拔付近)に集中しています。